

シラバス(理科 理数化学)

科目名	理数化学 (化学基礎)	学年	1	使用 教材	教科書	高等学校 化学基礎	東京書籍
		必履修の別 (必・選必・コース選)	必		副教材	ニューステップアップ化学基礎 サイエンスビュー化学総合資料	東京書籍 実教出版
学科	理数科	単位数	2				
系統科目	理数化学(2年必・3単位)、理数化学(3年選必・2単位)など						

【学習目標】

- 1 化学が物質を対象とする科学であることや、化学が人間生活に果たしている役割を理解できる。
- 2 化学的な事物・現象に関する基礎的な知識及び基本的な概念や原理・法則を深く、系統的に理解する。
- 3 生徒自らが課題を見付け、考え、見通しをもって観察、実験などに取り組み、科学的に探究する力を養う。
- 4 化学反応の量的関係、酸と塩基の反応および酸化還元反応の基本的な概念や法則が理解できるとともに、日常生活や社会と関連づけて考察できる。

【学習方法のポイント】

- 日々の授業の復習を、その日のうちに行う。
- 学んだ化学現象について理解を深め、公式の丸暗記に終わらないように理解を深める。
- 教科書や研究ノートの問題を活用し、問題演習を通して理解を定着させる。

【学習評価と観点】

- 次の4つの観点に基づき、学習内容のまとめりとともに下記の評価マトリクスにより評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。

①自然事象への 関心・意欲・態度	自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。				
②思考・判断 (科学的な思考)	自然の事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。				
③観察・実験の 技法・表現	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。				
④自然事象について の知識・理解	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。				
評価方法／観点	①	②	③	④	備考
学習状況観察	◎	—	○	—	グループワーク・発表等
ワークシート	◎	○	◎	○	実験レポート、課題プリント等
テスト	—	◎	○	◎	定期考査、小テスト

※表中の◎は観点の中でより重視するところです。

- 学習の記録簿を活用することで、自らの学習状況をチェックし、目標達成に努めましょう。

【定期テスト範囲(目安)】※追加・変更することもある。

			教科書(単元)	備考
学期	1学期	中間	化学と人間生活、物質の構成とその分離	
		期末	原子の構造、化学結合	
	2学期	中間	物質量と化学反応式	
		期末	酸・塩基反応	
	3学期	学年末	酸化還元反応	

【学習サポート】

- 大学入試問題など、授業の教材以外についても対応しますので、ぜひ質問に来て下さい。
- 学習方法や理解できなかった部分の相談など随時対応します。